

## はじめに

鹿児島純心女子大学キリスト教文化センターは、平成13年(2001年)度に発足し、令和3年(2021年)4月で20周年を迎えました。

さて、前回の報告が出されたのは、元号がその年の5月1日から替わった2019年3月でした。今回は、平成31年(2019年)2月22日(金)に行われた公開セミナーと「奄美の自然と教会を訪ねて」をテーマに同年9月6日(金)から8日(日)にかけて実施された研修旅行について報告します。公開セミナーは「キリスト教と教育」というテーマで、長崎南山中学・高等学校校長の西経一先生が、「聖書が教える愛」という演題で終始参加者を笑わせながらご講演をしてくださり、大変好評を博しました。また研修旅行では、奄美大島の南から北までの自然、教会、歴史、食文化に触れ、学びました。地元信者の皆様の温かいおもてなしや、非常に興味深いお話などのおかげで誠に有意義な研修となりました。お世話になりました方々に心から感謝申し上げます。参加者は、所員も含め12名でしたが、そのうちの獅子目博文、藤尾清信、森中房枝、成願めぐみ、山下陽司の諸先生は、翌春に当大学を退職されたため、とりわけ思い出深いものとなりました。

令和2年(2020年)は、新型コロナウイルスによって日々の生活、仕事、学校、文化活動など生活全般にわたって生活様式の変更を余儀なくされました。大学もオンライン授業なしに授業計画を進められませんでした。このような状況の中、キリスト教文化研究センターでも毎年開催していたコンサートと公開セミナーを中止せざるを得ませんでした。「学園の日」のミサも中止となりましたが、学長メッセージを放送とYouTubeで発信したり、「江角先生のことばの花束づくり」を実施し、学園創立の原点に立ち戻る機会とすることができました。

コロナ禍による制約のため、学生の皆さんがキリストの喜びと愛に触れる活動の機会が減少していますが、各方面のご協力をいただきながら活動を続けていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年(2022年)3月  
キリスト教文化研究センター  
所員 末吉卓也